第

2

研

オンライン(Z00

https://www.jsip-a.jp

丈 (さとう・たけし) 佐 藤

(日本個人心理学会常任理事、公認心理師、北杜市立泉小学校教諭)

山梨県公立小学校教諭 自閉症・情緒障害特別支援学級担任として、自閉症スペクトラムや AD/HDなどの障害をもつ児童の指導に当たる。また、通常学級に在籍する特別な支援を要する 児童についても特別支援教育コーディネーターとして、学級担任と連携して支援に当たってい る。PDCAサイクルにA(Assessment)を付け加えたA-PDCAサイクルを提唱し、独自の個別指導 計画のフォーマットを開発し活用している。

著書に『ケース別でよくわかる! アドラー心理学に学ぶ「勇気づけ」実践ガイド(心理学 de 学級経営) 2020』『勇気づけの教室をつくる! アドラー心理学入門(心理学 de 学級経営) 2016』(どちらも明治図書出版)などがある。

研修内容

今回の研修会では、アドラー心理学を通して、現在の小学校を見るこ とによって、集団不適応や不登校などの問題の背景が見えてきたことに ついてお伝えしたいと思います。特に「共同体感覚(特に共感性)の発 達」「主体的であること」「感覚タイプの先見性と、その正統な活用」 の3つの柱で皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

児島 史篤(こじま・ふみあつ)

(日本個人心理学会常任理事、公認心理師、にっこりハウス園長)

〈所属〉(株)児島教育研究所代表取締役、江戸川区認可小規模保育所にっこりハウス園長 江戸川区小 規模保育所連絡会会長、江戸川区児童発達支援連絡会会長他

<資格> 公認心理師、臨床発達心理士、保育士、幼稚園教諭一種、アドラー・カウンセラー他

<アドラー心理学との出会い>

保育士として活動する中、実際の保育現場で勇気くじきあふれる保育!?を目の当たり にして、もっと良い方法は無いのかなと色々調べる中でアドラー心理学と出会い、学び 始めたのが最初でした。現在は、自分で保育園を立ち上げ、児童発達支援や保育所等・ 学童保育等の運営、子育て支援やカウンセリング、発達障害支援や保護者支援に力を入 れて活動しています。

> アドラー心理学は人間関係にとても強い心理学と感じていますが、 実際に子ども達の発達において、ライフスタイルの形成における、環 境要因として周りの大人の対応、自己決定していく上での勇気づけを 行うことの意義について。また、近年発達障害と呼ばれる子ども達も 増えていますが、その支援や療育にあたって、アドラー心理学の考え 方や理論がとても役立つことを、日々の実践を踏まえ、皆様の現場で も役立つ内容としてお伝えできればと思います。

時: 2020年10月31日(土)13時~15時半

受講料: 会員 3,000円/非会員 4,000円/学生 2,000円

* 学生は会員・非会員共に上記受講料となります

サイト内「研修会」ページ内 申込フォームより受付中



~会員のみなさまへ~ 終了後休憩をはさみ、16時より【2019年度総会】を開催いたします。研修フォームより出欠をお知らせください。